

都庁記者クラブの皆様

新理事長就任のご挨拶

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターでは、前理事長 井上 滉の任期満了に伴い、後任として片岡 正俊 が理事長に就任いたしました。

就任のご挨拶とプロフィールをお知らせいたします。

今後とも、よろしくお願いいたします。

理事長挨拶

お客様とともに歩む都産技研

4月1日付けで都産技研の理事長に就任しました。昨年より理事として勤めてまいりましたが、あらためましてよろしくお願い致します。

さて、2008年は年初から原油高、株安、そしてドル安円高と経済の不安定要因が増し、中小企業の経営環境はますます厳しいものになってきております。こうした状況を打開していくには、イノベーションによる産業の活性化が必要不可欠であり、東京都でも新しい産業支援拠点の整備など、戦略的な産業政策を進めています。

しかしながら、このイノベーションは簡単なことではありません。現代は「よい物をつくれば売れる」(プロダクトアウト)時代ではなく、「売れる物をつくる」(マーケットイン)時代と言われます。そのため、企業にはシーズ先行ではなくマーケットニーズに基づくイノベーションが求められています。

こうした産業界の状況をふまえ、都産技研ではあらたな経営ビジョンとして、「時代の先を読み、技術の力で、産業をリードする」を掲げました。そして、この具体策として、1)ニーズオリエンテッドな事業運営、2)戦略的な技術力強化、3)事業化を見据えた技術支援、の3つの方針で都産技研を運営してまいります。

(1) ニーズオリエンテッドな事業運営

都産技研の主要事業であります、技術相談、依頼試験、研究開発、セミナー等すべての活動において、いつもお客様の事業にとって必要なものはないかの視点で、産業界、学会、市場をウォッチし、新たな提案を進めてまいります。

(2) 戦略的な技術力強化

都産技研の継続的な技術力強化を戦略的に進めてまいります。時代の先を読むことで、今後産業界に必要とされる技術の方向をロードマップとして定め、そのロードマップに沿って、都産技研の技術開発を進め、中小企業のイノベーションに役立てていく所存です。

(3) 事業化を見据えた技術支援

都産技研の技術支援はお客様である中小企業の事業の成功を見据えた支援を行います。技術支援の成果が事業という形にならない限り成果を都民に還元することができません。お客様のマーケットを見据えた技術支援を行ってまいります。

昨今の経済情勢には厳しいものがあり、さらに時間とともに変化していきます。わたくしども都産技研はつねに、中小企業の方々共通の問題意識をもってイノベーションにとりくみ問題解決を図っていく、「お客様とともに歩む都産技研」を目指してまいります。なにとぞ、都産技研の積極的な活用をお願い致します。



プロフィール

片岡 正俊(かたおか まさとし)
(工学博士)

<経歴>

昭和49年3月 東京大学工学部
計数工学科卒
昭和49年4月 三菱電機(株)入社
平成 9年6月 同社 設計システム
技術センター システム応用技術
部長
平成11年12月 同社 情報システ
ム技術センター プロジェクト推進
部長
平成16年11月 長岡技術科学大
学 経営情報系 教授
平成19年4月 地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事
平成20年4月 同センター理事長

<出身地> 高知県

<年齢> 56歳

【お問い合わせ先】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

経営企画本部経営情報室

澤近 TEL 03-3909-2431

FAX 03-3909-2590

総務部総務課

小野 TEL 03-3909-2290

FAX 03-3909-2590